

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	レストランサービス技能検定3級対策（学科）				
担当教員	渡邊 恵		実務授業の有無	なし	
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択	単位数		時間数	90
授業概要、目的、授業の進め方	レストランサービス技能検定3級学科試験合格を目指し、座学を中心にしながらテキストを進めていく（受験資格に受講することが必須）				
学習目標（到達目標）	レストランサービス技能検定3級学科試験合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	西洋料理 料飲接客サービス技法 プリント、確認テスト				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～3	第1章 食材・飲料等の基礎知識 第1節 食品				
4、5	第1章 食材・飲料等の基礎知識 第1節 食品				
6～8	第1章 食材・飲料等の基礎知識 第2節 西洋料理に使用される主な食材				
9、10	第1章 食材・飲料等の基礎知識 第2節 西洋料理に使用される主な食材				
11～13	第1章 食材・飲料等の基礎知識 第3節 一般的な西洋料理調理法、第4節 飲料の種類および特徴				
14、15	第1章 食材・飲料等の基礎知識 第4節 飲料の種類および特徴、第5節 メニュー				
16～18	第1章 食材・飲料等の基礎知識 第6節 西洋料理の食事用具・備品				
19、20	確認テスト				
21～23	第2章 接客の基本 第1節～第4節				
24、25	確認テスト				
26～28	第3章 宴会とレストランサービス 第1節 宴会、第2節 レストラン				
29、30	第3章 宴会とレストラン 第3節 客席案内～第8節 メニュー管理				
31～33	第3章 宴会とレストランサービス 第9節 料理、食器等の異常～第12節 食事の国際習慣				
34、35	確認テスト				
36～38	第4章 食文化				
39、40	第5章 施設管理				
41～43	第6章 苦情対応と遺失物の取り扱い				
44、45	確認テスト				
46～48	第7章 食品衛生および公衆衛生 第1節 食品衛生				
49、50	第7章 食品衛生および公衆衛生 第2節 公衆衛生～第3節 食品衛生法				
51～53	確認テスト、第8章 安全衛生 第1節 労働災害				

54、55	第8章 安全衛生 第2節 危険有害性	
56～58	第8章 安全衛生 第3節 労働安全衛生に関する法令	
59、60	全体振り返り解説	
61～63	確認テスト	
64～69	特別講習 問題演習	
70～75	特別講習 問題演習	
76～81	特別講習 問題演習	
82～87	特別講習 問題演習	
88～90	丸付け、振り返り	
評価方法・成績評価基準		履修上の注意
確認テスト50%、出席率30%、学習意欲（授業態度）20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。		食に関わる知識全般を学びます。わからない、難しい用語などは自身で調べ、頭の中に映像が浮かぶように準備をしてください。そうすることで食に関わる様々な事柄に興味を沸き、検定のためだけでなく自身の仕事に直結した知識を覚えたいと感じるはずです。それが、お客様への食の安全にもつながります。
実務経験教員の経歴	客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった	

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	レストランサービス技能検定3級対策（実技）				
担当教員	渡邊 恵		実務授業の有無	なし	
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	55（前20、後35）
授業概要、目的、授業の進め方	レストランサービス技能検定3級実技試験合格を目指し、実技を中心にしながら進めていく （受験資格に受講することが必須）				
学習目標 （到達目標）	レストランサービス技能検定3級実技試験合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	日本ホテル・レストランサービス技能協会からの3級実技課題プリント				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1、2	動機付け、前年の実技試験課題デモンストレーションと説明				
3、4	演習 案内からパンサービスまで		セリフ、動き台本を確認し、止めながら動きの確認		
5、6	演習 案内からパンサービスまで		セリフ、動き台本を確認し、通して確認		
7、8	演習 案内からパンサービスまで		セリフ、動き台本を見ずに通して確認		
9、10	演習 パンサービスからリセットまで		セリフ、動き台本を確認し、止めながら動きの確認		
11、12	演習 パンサービスからリセットまで		セリフ、動き台本を確認し、通して確認		
13、14	演習 パンサービスからリセットまで		セリフ、動き台本を見ずに通して確認		
15、16	演習 全体		セリフ、動き台本を見ずに通して確認		
17、18	実技確認テスト①				
19、20	実技確認テスト②				
21、22	実技試験課題デモンストレーションと説明				
23、24	演習 案内からパンサービスまで		セリフ、動き台本を確認し、止めながら動きの確認		
25、26	演習 案内からパンサービスまで		セリフ、動き台本を確認し、通して確認		
27、28	演習 案内からパンサービスまで		セリフ、動き台本を見ずに通して確認		
29、30	演習 パンサービスからリセットまで		セリフ、動き台本を確認し、止めながら動きの確認		
31、32	演習 パンサービスからリセットまで		セリフ、動き台本を確認し、通して確認		
33、34	演習 パンサービスからリセットまで		セリフ、動き台本を見ずに通して確認		
35、36	演習 全体（みだしなみチェック①）		セリフ、動き台本を見ずに通して確認		
37、38	演習 全体		セリフ、動き台本を見ずに通して確認		
39、40	演習 全体		制限時間に近づけるようタイムも気にする		
41、42	演習 全体（みだしなみチェック②）		制限時間に近づけるようタイムも気にする		

43、44	演習 全体	タイムを縮める
45、46	演習 全体	タイムを縮める
47、48	演習 全体（みだしなみチェック③）	タイムを安定させる
49、50	演習 全体	タイムを安定させる
51、52	苦手パート克服	
53、54	反復練習	
55	振り返り	
評価方法・成績評価基準		履修上の注意
定期テスト30%、出席率40%、学習意欲（授業態度）30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。		実技試験当日に緊張して制限時間をオーバーすることのないように何度も反復練習を行います。学校内の練習を日々、緊張感を保ち行うことが重要です。また、試験当日の想像をして、備品の違いや会場の違いに戸惑わないようにしていきます。
実務経験教員の経歴		客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった

② 国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ブライダル総論Ⅱ				
担当教員	武田 奈々 ホテル・ブライダル科	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ウェディングプランナーコース	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	90
授業概要、目的、 授業の進め方	1、ブライダル・コーディネーター技能検定について理解する 2、日本と欧米の結婚式について歴史と文化を理解する 3、ブライダルビジネスについて理解する 4、ブライダルの基礎的知識について理解する				
学習目標 (到達目標)	検定出題傾向について理解し、暗記する。知識だけではなく、職業観を意識させていく。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ブライダル・コーディネーターテキストエキスパート				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	・ブライダル・コーディネーター検定を理解する 第1章 結婚の定義		教科書のライン引きと解説		
3.4	第2章 日本の結婚式：歴史と文化				
5.6	第3章欧米の結婚式：歴史と文化				
7.8	第4章 見合い				
9.10	第5章 婚約				
11.12	第6章 結納				
13.14	第7章 結婚式（キリスト教式・神前式）				
15.16	第7章 結婚式（仏前式・ジビルマリッジ・パウリニューアル）				
17.18	第8章 披露宴				
19.20	第9/10/11章 二次会・新婚旅行・料理飲み物				
21.22	前期テスト実施		テスト		
23.24	第12/13章 トータルコーディネート・衣装		教科書のライン引きと解説		
25.26	第13/14章 衣装・ヘアメイク				
27.28	第15/16章 フラワーアイテム・会場コーディネート				
29.30	第17/18/19/20/21/22章 ペーパーアイテム・引出物・音響・照明・司会・写真・記念アイテム				
31~34	過去問題実施と解答解説		テスト実施		
35~38	過去問題実施と解答解説				
39~43	過去問題実施と解答解説				
44~48	過去問題実施と解答解説				
49~52	過去問題実施と解答解説				
53~56	過去問題実施と解答解説				
57~60	実技試験対策				
61~64	実技試験対策				
65~70	実技試験対策				
71~80	実技試験対策、過去問題対策				
81~84	過去問題、実技対策				
85~87	検定勉強				
88~90	ブライダルコーディネート技能検定本番				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率50%、授業態度10%、学科テスト40% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			重要ポイントのライン引きをしっかりと学習して暗記すること。 検定の出題傾向について理解すること。		
実務経験教員の経歴	バンケットキャプテン・アテンダント・音響・司会業務に13年関わる				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	婚礼予約				
担当教員	武田 奈々	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ブライダル科 ウェディングプランナーコース	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	35
授業概要、目的、 授業の進め方	新規接客を理解し企画や広報を考えることが出来る				
学習目標 (到達目標)	初回来館から結婚式当日までの流れを理解し、新規接客ではアイスペイクや自分なりのセールストークができる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ブライダル・コーディネーターテキストエキスパート				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	結婚が決まってから結婚式当日までの流れ・新郎新婦の気持ちの変化について理解する。		実務		
2	ヒューマンスキルの重要性について理解する。		実務		
3.4	新規接客時の一連の流れを理解する。		実務		
5.6	新規接客の重要性を理解する。		実務		
7.8	<会場案内> 魅力的で効果的な会場の見せ方・話し方について考え、自分なりのセールストークができる。		実務		
9.10	<見積もり作成> サービス料の定義を理解する。消費税・サービス料の計算ができる。		実務		
11.12	<仮予約> 仮予約を確実に獲得するための対策を考える。		実務		
13.14	<申込手続き> 申込手続き時伝えるべきこと、今後の打合せスケジュールを理解する。		演習		
15.16	<申込手続き> ロープレを通し、15の手続き内容を順序よく説明できる。		演習		
17.18	ゲスト目線で結婚式のお呼ばれマナーがわかる。 服装のマナーについての注意点が説明できる。		実務		
19.20	招待状に必要なアイテムの名称がわかる、内容が説明できる。		実務		
21.22	前期学習の振り返り		実務		
23.24	前期の復習（新規接客の流れ、心構え）		実務		
25.26	招待状作成の際に差出人名義の違いを理解し、発注することができる。		実務		
27.28	ゲストテーブルの配置方法とそれぞれの特徴がわかる。		実務		
29.30	ゲストテーブルの配置での上座・下座、ゲストテーブル内での上座・下座を理解し、説明ができる。		実務		
31.32	結婚式当日の新郎新婦・ゲストのタイムスケジュールがわかる。		実務		
33.34	挙式～披露宴までオリジナルウェディングのプロデュース企画		実務		
35	挙式～披露宴までオリジナルウェディングのプロデュース企画 発表		実務		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率80%、授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			重要ポイントを理解すること。自分で考え意見を述べること。		
実務経験教員の経歴	バンケットキャプテン・アテンダント・音響・司会業務に13年関わる				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	新規接客				
担当教員	武田 奈々	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ブライダル科 ウェディングプランナーコース	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択	単位数		時間数	15
授業概要、目的、 授業の進め方	新規接客である、ヒアリング、プランニング、プレゼンテーションと一通りの接客理解と実践				
学習目標 (到達目標)	好感の持てる新規接客ができる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ブライダル・コーディネーターテキストエキスパート				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	新規接客動機付け、スケジュール説明、グループ分け、手本実践		実務、実習		
3.4	内容検討、自社詳細資料作成、練習		実務、実習		
5.6	新規接客練習		実習		
7.8	中間チェック		実習		
9.1	直し、練習		実習		
11.12	直し、練習		実習		
13.14.15	テスト発表、振り返り		実習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技70%、出欠席10%、授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			重要ポイントを理解すること。自分で考え意見を述べること。		
実務経験教員の経歴	バンケットキャプテン・アテンダント・音響・司会業務に13年関わる				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	バンケットサービス				
担当教員	武田 奈々	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ブライダル科 ウェディングプランナーコース	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択	単位数		時間数	15
授業概要、目的、 授業の進め方	1、入場前説明、入場先導が出来るようになる 2、演出説明と実践が出来るようになる 3、実技テストに合格しキャプテン業務を習得する				
学習目標 (到達目標)	ご結婚披露宴のキャプテン業務（入場前説明、入場先導、演出説明）ができる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ブライダル・コーディネーターテキストエキスパート				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	会場図面の書き方・入場前説明・演出説明シート作成		実務		
3.4	入場前説明～入場実践練習		演習（バンケットルームにて）		
5.6	演出説明～退場実践練習				
7.8	マイクアテンド・着席離席補助練習				
9.10	今までの通し練習				
11.12	テストに向けた実技練習				
13.14.15	実技テスト				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技70%、出欠席10%、授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			バンケットキャプテンを認識して実習に臨むこと。積極的に取り組むこと。職業を意識した身だしなみを心がけること。		
実務経験教員の経歴	バンケットキャプテン・アテンダント・音響・司会業務に13年関わる				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	接客術				
担当教員	武田 奈々		実務授業の有無	○	
対象学科	ホテル・ブライダル科 ウェディングプランナーコース	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	選択	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方	1、接客をする際の印象のよい発声方法、ブライダル商品を魅力的に見せるための言葉を学ぶ				
学習目標 (到達目標)	ブライダル商品を魅力的に説明できる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	プリント				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	発声、滑舌トレーニング、「されて嬉しい・不快な接客」について 7つの接客応対用語		プリント		
2					
3	発声、滑舌トレーニング 美しく、正しい接客のフレーズ		プリント		
4					
5	相槌のレパートリーを増やす		なし		
6					
7	装飾語をつけて、文章作成		レポート用紙		
8					
9	グループを組んでロールプレイング		なし		
10					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技70%、出欠席10%、授業態度20% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			聞く力、話す力を身につけ、「借りたくなる」接客術を修得する		
実務経験教員の経歴	バンケットキャプテン・アテンダント・音響・司会業務に13年関わる				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	テーマウェディングディスプレイ				
担当教員	高橋 香織	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	30
授業概要、目的、 授業の進め方	1、新郎新婦が希望するテーマにそって、ディスプレイを提案、実践する				
学習目標 (到達目標)	チームを組んで、ディスプレイを完成させる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	プリント、資材				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	テーマウェディングを提案する		動画にてテーマウェディング説明		
2			デザイン画かく		
3	資材発注		分担し資材発注		
4					
5					
6	ディスプレイ開始		かざりつけ		
7					
8					
9					
10					
11	ディスプレイ完成		かざりつけ		
12					
13					
14					
15					
16	テーマウェディングを提案する		動画にてテーマウェディング説明		
17			デザイン画かく		
18	資材発注		分担し資材発注		
19					
20					
21	ディスプレイ開始		かざりつけ		
22					
23					
24					
25					
26	ディスプレイ完成		かざりつけ		
27					
28					
29					
30					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技70%、出欠席10%、授業態度20%			ディスプレイを通じて今の流行のウェディングを知り、新郎新婦の希望をカタチにしましょう。		
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴					
			ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。		

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ブライダルファッション・アテンド				
担当教員	高橋 香織		実務授業の有無	○	
対象学科	ホテル・ブライダル科プランナーコース	対象学年	2年生	開講時期	前期
必修・選択	選択	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方	プランナーとして挙式当日の新婦をサポートできる知識と技術を得る				
学習目標 (到達目標)	ドレスを着せることができる。アテンドができる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ブライダルコーディネーターテキスト エキスパート				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ドレスの着せ方①		教科書で基礎知識を学ぶ ドレスをフィッティングする		
2					
3	ドレスの着せ方②		ドレスをフィッティングする		
4					
5	ドレスの整え方		様々な場面を想定し、ドレスを整える		
6					
7	新婦のサポート方法①		ドレスを着た花嫁を動かす		
8					
9	新婦のサポート方法②		ドレスを着た花嫁を動かす		
10					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率50%、学習意欲50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			新婦の気持ちを知ることで気遣いを学ぶ		
実務経験教員の経歴	ドレススタイリストとして現場に10年間携わった				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	イベントプロデュースⅡ（リアルウェディング）				
担当教員	武田 奈々	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	105
授業概要、目的、授業の進め方	1、役割を責任をもって全うする 2、全員がウェディングプランナーとしての意識を持ち行動する 3、感動を提供し、自分も感動できるくらい頑張る 4、自分の目標を意識して行動する				
学習目標 （到達目標）	イベントを成功させ、自身の目標も達成する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	プリント教材				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～4	リアルウェディング説明、役割説明、過去のムービー鑑賞		グループワーク、プリント		
5～8	新郎新婦の発表と役割決め				
9～12	スケジュール説明と各自作業進める				
13～16	ヒアリングシートとプランニングシートの内容検討				
17～20	初回打ち合わせ				
21～24	テーマ、テーマカラーの検討、デッサン画書き始め				
25～28	式次第検討、シート作成				
29～35	再度式次第検討、シート作成				
36～41	パンフレットの作成、2回目の打ち合わせ段取り、台本作成、BGMリストアップ、カクテルの作成、会場装飾作成				
42～47	当日の動きを想定した練習		実習		
48～55	当日の動きを想定した練習				
56～62	当日の動きを想定した練習				
63～68	当日の動きを想定した練習				
69～74	雨天バージョンを考える・リスクを考える・持参物を表にする、買い出し				
75～80	リハーサルとチェック、修正				
81～91	ウェディング前日 リハーサル				
92～99	ウェディング当日、片付け				
100～105	片付け・振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率70%、授業態度30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			バンケットキャプテンを認識して実習に臨むこと。積極的に取り組むこと。職業を意識した身だしなみを心がけること。		
実務経験教員の経歴		バンケットキャプテン・アテンダント・音響・司会業務に13年関わる			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	イベントプロデュースⅡ（企業連携）				
担当教員	武田 奈々	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ブライダル科 ウェディングプランナーコース	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	85
授業概要、目的、 授業の進め方	1、役割を責任をもって全うする 2、企業目線で物事を考える力を養う 大人との関わりを持ちさまざまな考えにふれる 4、実現可能に近づけるよう努力する3、				
学習目標 （到達目標）	企業向けの提案が出来る				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	プリント教材				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	授業企画についての動機付け、今後のスケジュール説明		プリント		
3.4	グループ決め、グループでスケジュール決め		プリント		
5～8	下調べ、グループワーク		ディスカッション		
9.10	行政より助成金、補助金のお話を伺う		講義		
11.12	商品、プランなどお金の考え方、構築の仕方		講義		
13.14	広告宣伝に関する話		講義		
15～22	企画考える		ディスカッション、グループワーク		
23～26	第一回チェック、フィードバック、直し		グループワーク		
27～32	企画考える、直し				
33～38	第二回チェック、フィードバック、直し				
39～44	企画考える、直し				
45～50	中間発表（各グループに意見をもらう）				
51～56	企画考える、直し				
57～62	第三回チェック、フィードバック、直し				
63～76	提案発表リハーサル				
77～82	提案発表本番				
83.84.85	振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率70%、授業態度10%、企画内容20%			自分の考えを持ち、グループ内で伝える より良いものを考えブラッシュアップする努力をする		
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	バンケットキャプテン・アテンダント・音響・司会業務に13年関わる				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ブライダル総論Ⅱ				
担当教員	武田 奈々	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ブライダル科 ウェディングプランナーコース	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	90
授業概要、目的、 授業の進め方	1、ブライダル・コーディネーター技能検定について理解する 2、日本と欧米の結婚式について歴史と文化を理解する 3、ブライダルビジネスについて理解する 4、ブライダルの基礎的知識について理解する				
学習目標 (到達目標)	検定出題傾向について理解し、暗記する。知識だけではなく、職業観を意識させていく。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ブライダル・コーディネーターテキストエキスパート				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	・ブライダル・コーディネーター検定を理解する 第1章 結婚の定義		教科書のライン引きと解説		
3.4	第2章 日本の結婚式：歴史と文化				
5.6	第3章 欧米の結婚式：歴史と文化				
7.8	第4章 見合い				
9.10	第5章 婚約				
11.12	第6章 結納				
13.14	第7章 結婚式（キリスト教式・神前式）				
15.16	第7章 結婚式（仏前式・ジビルマリッジ・パウリニューアル）				
17.18	第8章 披露宴				
19.20	第9/10/11章 二次会・新婚旅行・料理飲み物				
21.22	前期テスト実施		テスト		
23.24	第12/13章 トータルコーディネート・衣装		教科書のライン引きと解説		
25.26	第13/14章 衣装・ヘアメイク				
27.28	第15/16章 フラワーアイテム・会場コーディネート				
29.30	第17/18/19/20/21/22章 ペーパーアイテム・引出物・音響・照明・司会・写真・記念アイテム				
31~34	過去問題実施と解答解説		テスト実施		
35~38	過去問題実施と解答解説				
39~43	過去問題実施と解答解説				
44~48	過去問題実施と解答解説				
49~52	過去問題実施と解答解説				
53~56	過去問題実施と解答解説				

57~60	実技試験対策	
61~64	実技試験対策	
65~70	実技試験対策	
71~80	実技試験対策、過去問題対策	
81~84	過去問題、実技対策	
85~87	検定勉強	
88~90	ブライダルコーディネート技能検定本番	
評価方法・成績評価基準		履修上の注意
出席率50%、授業態度10%、学科テスト40% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		重要ポイントのライン引きをしっかりと学習して暗記すること。検定の出題傾向について理解すること。
実務経験教員の経歴	バンケットキャプテン・アテンダント・音響・司会業務に13年関わる	

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		接客術				
担当教員		高橋 香織	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科		ホテル・ブライダル科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択		選択	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方		1、会場やドレスを選ぶ際の印象のよい発声方法、会場をドレスをより魅力的に見せるための言葉を学ぶ				
学習目標 (到達目標)		会場・ドレスを魅力的に説明できる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料		プリント				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1.2	発声、滑舌トレーニング、「されて嬉しい・不快な接客」について 7つの接客応対用語			プリント		
3.4	美しく、正しい接客のフレーズ 相槌のレパートリーを増やす			プリント		
5.6	会場ドレスの接客用語ピックアップ			筆記用具		
7.8	装飾語をつけて、文章作成			筆記用具		
9.10	グループを組んでロールプレイング			レポート用紙		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
実技70%、出欠席10%、授業態度20% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				聞く力、話す力を身につけ、「借りたくなる」接客術を修得する		
実務経験教員の経歴		ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	テーマウェディングディスプレイ				
担当教員	高橋 香織	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	1、新郎新婦が希望するテーマにそって、ディスプレイを提案、実践する				
学習目標 (到達目標)	チームを組んで、ディスプレイを完成させる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	プリント、資材				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	テーマウェディングを提案する		動画にてテーマウェディング説明		
2			デザイン画かく		
3	資材発注		分担し資材発注		
4					
5					
6	ディスプレイ開始		かざりつけ		
7					
8					
9					
10					
11	ディスプレイ完成		かざりつけ		
12					
13					
14					
15					
16	テーマウェディングを提案する		動画にてテーマウェディング説明		
17			デザイン画かく		
18	資材発注		分担し資材発注		
19					
20					
21			かざりつけ		

22	ディスプレイ開始	
23		
24		
25		
26	ディスプレイ完成	かざりつけ
27		
28		
29		
30		
評価方法・成績評価基準		履修上の注意
実技70%、出欠席10%、授業態度20% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		ディスプレイを通じて今の流行のウェディングを知り、新郎新婦の希望をカタチにしましょう。
実務経験教員の経歴	ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。	

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		ウエディング課題				
担当教員		武田 奈々	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科		ホテル・ブライダル科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択		選択	単位数		時間数	15
授業概要、目的、授業の進め方		1、ウエディングの情報誌やニュースに目を向ける 2、自分自身で情報を収集し、内容をまとめ課題を提出する				
学習目標 (到達目標)		調べる癖をつける。ウエディング情報をインプット＆アウトプットできるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料		パワーポイント、プリント、ウエディング情報誌				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	みんなに知ってほしいウエディングニュースについて3つ調べる			雑誌、新聞、ネットなど		
2						
3						
4	興味を持ってもらえるようにまとめる			雑誌、新聞、ネットなど		
5						
6						
7	パワーポイント、台本の作成			パワーポイント		
8						
9						
10	発表練習			パワーポイント		
11						
12						
13	発表する、課題提出			パワーポイント		
14						
15						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
出席率50%、課題提出50%				「伝える」ことを意識して作成する、発表すること		
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
実務経験教員の経歴						
バンケットキャプテン・アテンダント・音響・司会業務に13年関わる						

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ブライダルファッション				
担当教員	高橋 香織	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択	単位数		時間数	20
授業概要、目的、 授業の進め方	1. ウェディングスタッフに必要な技術と知識の修得				
学習目標 (到達目標)	1、ドレスをきれいにフィッティングすることができる 2、専門用語を使ってわかりやすく接客ができる 3、今後のブライダル業界を考え、提案することができる 4、ウェディングスタッフに相応しい、身だしなみ、心配りができる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	ドレスコーディネーターの業務・婚礼衣裳業界		プリント、ディスカッション		
3.4	カウンセリング・会場とのバランス		コラージュ作成		
5.6	ブライダルインナー講義		ブライダルインナーフィッティング		
7.8	ドレスの着せ方、アクセサリコーディネート		ドレスフィッティング		
9.10	フィッティングテスト				
11.12	テスト・課題作成				
13.14	新郎衣裳		マネキンと新郎衣裳		
15.16	和装知識		打掛使用		
17.18	和装畳み方テスト				
19.2	テスト・課題作成				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験30%、レポート25%、実技試験35% 出欠席10%			実技に関しては、ひとつひとつ「何のため」なのかを ディスカッションを通じて、理解したうえでの、実技修得に努めて ください。		
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・ D(59点以下)とする。			また技だけではなく、気配り、心配り、身のこなし、言葉づかいなど も評価対象になります。		
実務経験教員の経歴		ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。			

科目名	ブライダルファッション				
担当教員	高橋 香織	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ブライダル科 ファッションコース	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	30
授業概要、目的、 授業の進め方	1. ドレススタイリストになるための技術と知識の修得 2. WBJ「認定ドレスコーディネーター」を基にした実技指導と知識をディスカッション形式で行う。				
学習目標 (到達目標)	1、ドレスをきれいにフィッティングすることができる 2、専門用語を使ってわかりやすく接客ができる 3、今後のブライダル業界を考え、提案することができる 4、ドレススタイリストに相応しい、身だしなみ、心配りができる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	WBJ「認定ドレスコーディネーター」 日本フォーマル協会「フォーマルウェア・ルールブック」				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	スタイリストに必要な資質、ドレスルーム片付け・掃除		ドレスショップに見立て、掃除箇所を決定⇒実行		
3.4	フォーマルウェア男性正礼装		マネキンを着せながら、規程ルールを覚える		
5.6	フォーマルウェア		フォーマルウェアルールブック全ページ		
7.8	ドレスコーディネーターの業務・婚礼衣裳業界		教科書P15～17とディスカッション		
9.10	洋装知識、ドレスコーディネーターの業務・実務		教科書P21～42・P73～84		
11.12	衣裳選択・バランス・採寸		教科書P85～89		
13.14	新郎新婦のディスプレイ方法		教科書P44～52・P62～66・105・139		
15.16	ドレススタイリストの目指すもの		ディスカッション形式		
17.18	単価の出し方、予算の組み方、売り上げの上げ方		プリントを使って		
19.20	ネクタイの結び方、ポケットチーフの入れ方		実技にて		
21.22	男性衣裳のサイズ方法、着せ方		実技にて		
23～26	着物のたたみ方①		実技にて		
27.28	打ちかけの見せ方、着せ方		実技にて		
29.30	後期実技試験、筆記試験		着物のたたみ方、1年間の知識確認		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験30%、レポート25%、実技試験25% フォーマル検定10% 出欠席10%			実技に関しては、ひとつひとつ「何のため」なのかを ディスカッションを通じて、理解したうえでの、実技修得に務めて ください。		
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・ D(59点以下)とする。			また技だけではなく、気配り、心配り、身のこなし、言葉づかいな ども評価対象になります。		
実務経験教員の経歴		ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。			

科目名	和装着付けⅡ				
担当教員	高橋 香織	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ブライダル科 ファッションコース	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	選択	単位数		時間数	25
授業概要、目的、 授業の進め方	1、人に着物を着付けることができる				
学習目標 (到達目標)	京都きもの学院着物きつけ中級修了				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	京都きもの学院着物きつけ中級、着物一式				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	長襦袢のサイズあわせ、初級の復習		実技		
3.4	長襦袢のサイズあわせ、初級の復習				
5.6	ペアを組んで着せあう、名古屋帯を結ぶ、小テスト1 2 配布		実技、テスト		
7.8	留袖を着せあう（着物のみ）、二重太鼓を結びあう、1 2 解答3 配布		実技、テスト		
9.10	留袖を着せあう（着物のみ）、二重太鼓を結びあう、1 2 解答3 配布				
11.12	留袖を着せあう（着物のみ）、二重太鼓を結びあう、3 解答4 配布		実技、テスト		
13.14	留袖、二重太鼓を結びあう、4 解答5 配布		実技、テスト		
15.16	留袖、二重太鼓を結びあう、5 解答		実技、テスト		
17.18	留袖を着せあう、二重太鼓の変わり結び		実技、テスト		
19.20	中級筆記テスト		テスト		
21.22	留袖を着せあう、検定、実技テスト、筆記テスト		実技、テスト		
23.24	留袖を着せあう、検定、実技テスト、筆記テスト				
25	留袖を着せあう、検定、実技テスト、筆記テスト				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技70%、出欠席10%、授業態度20% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			着付けを通じ、礼儀作法を覚える、和装の柄や部位名称など、スタイリストの接客にも役立ちます。		
実務経験教員の経歴		ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。			

科目名	フラワーアレンジメントⅡ				
担当教員	高橋 香織	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	20
授業概要、目的、 授業の進め方	1、ドレススタイリストとして、ブーケがアドバンスできるようになる。 2、フラワーは実技指導中心				
学習目標 (到達目標)	ドレスとブーケのトータルコーディネートができる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	SNS				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	デザインの分類、フレームデザイン		特になし		
3.4	アートフラワーの使い方、ヘッドドレス		アートフラワー		
5.6	生花ヘッドドレス		生花		
7.8	ドレスとブーケのコーディネート、ガーベラのクラッチ&アームブーケ		生花		
9.10	花かんむり①		アートフラワー		
11.12	花かんむり②		続き		
13.14	クラシックな生花、カスケードブーケ		生花		
15.16	アートフラワーのリースブーケ		アートフラワー		
17.18	ショルダーコサージュ		アートフラワー		
19,20	クラッチブーケ		生花		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
作品70%、出欠席10%、授業態度20% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			ものを作るだけでなく、ワイヤリング方法やテープなどの処理方法も共に学びましょう。		
実務経験教員の経歴		ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校

科目名	ウェディングフォト				
担当教員	高橋 香織	実務授業の有無	○	授業形態	
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	2	開講時期	
必修・選択	選択	単位数		時間数	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.ウェディングスタッフとして、フォトを知ること、フォトウェディングの提案ができる 2.現役カメラマンの実技指導				
学習目標 (到達目標)	自分たちで企画したフォトウェディングを経験する				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・復習		
1	フォトウェディングとは		パワーポイント		
2					
3	カメラの知識		パワーポイント		
4					
5	ウェディングスタッフが知るべきこと		パワーポイント		
6					
7	今のフォトウェディング		パワーポイント		
8					
9	SNSで映える写真の撮り方		カメラ・携帯撮影		
10					
11	撮影会準備		ディスカッション		
12			ディスカッション		
13			ディスカッション		
14			準備		
15			準備		
16			準備		
17			屋外に出での学習		

18	フォトウェディング撮影会		
19			
20			
21			
22			↓
23	フォトウェディング撮影会	屋外に出での学習	
24			
25			
26			
27			
28			↓
29	振り返り	パワーポイント	
30			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意	
実務経験教員の経歴			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ウォーキング				
担当教員	高橋 香織	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	1、ドレススタイリストとして、花嫁に当日の歩き方のアドバイスができる				
学習目標 (到達目標)	花嫁に当日の身のこなし方のアドバイスができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	ドレスを着た時の基本の立ち方、歩き方、ブーケの持ち方		ドレスを着てウォーキング		
3.4	ドレスを着てブーケを持って歩く				
5.6	ドレスを着た時の立振舞を学ぶ				
7.8	全体を通しての動きをマスターする				
9.10	花嫁に説明をしてする			↓	
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技70%、出欠席10%、授業態度20%			歩かせ方、誘導の仕方を通して、当日の花嫁の気持ちを感じ取れる力を身につけましょう。		
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	裁縫				
担当教員	高橋 香織	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ブライダル科 ファッションコース	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	選択	単位数		時間数	15
授業概要、目的、 授業の進め方	1、ドレススタイリストとして、ボタン付け、すそ上げ、ドレス修理ができる。 2、小物を作成しながら、ボタン付けなどを修得する				
学習目標 (到達目標)	1、ドレス修理、すそ上げができる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	裁縫道具、布				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	基礎練習、ピンククッション製作				
3～5	基礎練習、ドレス補整				
6.7	基本技術練習、ボタンつけ、小物製作				
8.9	基本技術練習、ファスナーつけ、小物製作				
10.11	基本技術練習、小物製作（完成）、ピングピローデザイン製作開始				
12.13	基本技術練習、リングピロー製作				
14.15	リングピロー完成、基本技術テスト・確認				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
作品70%、出欠席10%、授業態度20% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			技術も大事ですが、物を修理して大切に扱う気持ちも学びましょ う。		
実務経験教員の経歴	ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。				

科目名	スタイリストヘアメイク				
担当教員	高橋 香織	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方	1、ドレスフィッティングの際に簡単にヘアアレンジができる 2、フォト撮影時にお直しができる 3、実技指導中心				
学習目標 (到達目標)	1、花嫁のヘアメイクなおし				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	メイク道具				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	自分に似合うメイク		ヘアメイク道具		
3.4	自分に似合うヘア				
5.6	洋装花嫁デモンストレーション 人気スタイルを知る				
7.8	ヘアメイク直し練習				
9.10	ヘアメイク直し練習				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
作品70%、出欠席10%、授業態度20% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			技術も大事ですが、物を修理して大切に扱う気持ちも学びましょ う。		
実務経験教員の経歴		ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		イベントプロデュースⅡ				
担当教員		武田 奈々	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科		ホテル・ブライダル科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択		必修	単位数		時間数	105
授業概要、目的、 授業の進め方		1、役割を責任をもって全うする 2、全員がウエディングプランナーとしての意識を持ち行動する 3、感動を提供し、自分も感動できるくらい頑張る 4、自分の目標を意識して行動する				
学習目標 (到達目標)		イベントを成功させ、自身の目標も達成する。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料		プリント教材				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1～4	リアルウエディング説明、役割説明、過去のムービー鑑賞			グループワーク、プリント		
5～8	新郎新婦の発表と役割決め					
9～12	スケジュール説明と各自作業進める					
13～16	ヒアリングシートとプランニングシートの内容検討					
17～20	初回打ち合わせ					
21～24	テーマ、テーマカラーの検討、デッサン書き始め					
25～28	式次第検討、シート作成					
29～35	再度式次第検討、シート作成					
36～41	パンフレットの作成、2回目の打ち合わせ段取り、台本作成、 BGMリストアップ、カクテルの作成、会場装飾作成					
42～47	当日の動きを想定した練習			実習		
48～55	当日の動きを想定した練習					
56～62	当日の動きを想定した練習					
63～68	当日の動きを想定した練習					
69～74	雨天バージョンを考える・リスクを考える・持参物を表にする、買 い出し					
75～80	リハーサルとチェック、修正					
81～91	ウエディング前日 リハーサル					
92～99	ウエディング当日、片付け					
100～105	片付け・振り返り					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
出席率70%、授業態度30%						
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)と				パンケットキャプテンを認識して実習に臨むこと。積極的に取り組むこと。職業を意識した身だしなみを心がけること。		

する。

実務経験教員の経歴

バンケットキャプテン・アテンダント・音響・司会業務に13年関わる

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	イベントプロデュースⅡ（ウェディングパーティー）				
担当教員	高橋 香織	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択	単位数		時間数	50
授業概要、目的、授業の進め方	1、フィッティング技術、裁縫技術、コーディネート力、表現力、チームワークなど実践的に身につける 2、パーティー演出を学ぶ				
学習目標 （到達目標）	1、ウェディングパーティーで高校生を楽しませ、学校に興味をもってもらう				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	企画・クラス発表		各グループで考える⇒教員チェック		
3.4	事務局への発表⇒基本案決定				
5.6	担当・内容決定				
7.8	パーティー内容と小物決定				
9.10	パーティー装飾を考える				
11.12	スケジュール作成				
13～16	装飾/台本作成				
17.18	装飾/ヘアメイク				
19～21	動いてみる				
22～27	装飾作成				
28～33	リハーサル				
34～39	リハーサル				
40～43	リハーサル				
44～49	本番				
50	振り返り			↓	
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験30%、レポート25%、実技試験25% フォーマル検定10% 出欠席10%			実技に関しては、ひとつひとつ「何のため」なのかをディスカッションを通じて、理解したうえでの、実技修得に務めてください。		
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			また技だけではなく、気配り、心配り、身のこなし、言葉づかいなども評価対象になります。		
実務経験教員の経歴		ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。			

科目名		イベントプロデュース II（新規接客）				
担当教員		高橋 香織	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科		ホテル・ブライダル科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択		選択	単位数		時間数	40
授業概要、目的、 授業の進め方		1,営業意識を持たせ、コミュニケーション能力、表現力を実践的に学ぶ 2,ロールプレイングで実施				
学習目標 (到達目標)		ロールプレイングコンテスト実施				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料		なし				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1.2	新規接客とは			パワーポイント		
3～6	プロの映像を観て気づいたことを話し合う			映像・ディスカッション		
7～10	言葉の選び方					
11～14	ビジュアルツールについて			パソコン		
15.16	アレンジ方法			パソコン		
17.18	案内・誘導の仕方					
19.20	ゲストの設定を考える					
21～24	接客デモンストレーション					
25.26	ロールプレイング練習					
27～30	ロールプレイング練習					
31.32	ロールプレイング練習					
33.34	リハーサル					
35～38	本番					
39.4	振り返り					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
定期試験30%、レポート25%、実技試験25% フォーマル検定10% 出欠席10%				実技に関しては、ひとつひとつ「何のため」なのかを ディスカッションを通じて、理解したうえでの、実技修得に務め てください。		
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・ D(59点以下)とする。				また技だけではなく、気配り、心配り、身のこなし、言葉づかい なども評価対象になります。		
実務経験教員の経歴		ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	イベントプロデュース II（ブライダルフェア）				
担当教員	高橋 香織	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	選択	単位数		時間数	60
授業概要、目的、授業の進め方	1、営業力、コーディネート力、表現力、チームワークなど実践的に身につける 2、ブライダルフェアの企画・実現				
学習目標 （到達目標）	1、ブライダルフェアを実施することで、営業力と今のトレンドを知る				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	ブライダルフェアとは		パワーポイント		
3～6	各企業のフェアを調べまとめる		パワーポイント		
7.8	マーケティングを学ぶ		パワーポイント		
9.10	集客方法を学ぶ		パワーポイント		
11～14	今のトレンド調査		パワーポイント		
15.16	調査結果発表		パワーポイント		
17.18	チーム編成		パワーポイント		
19～22	ブライダルフェア企画		パワーポイント		
22.23	企画発表		パワーポイント		
24～27	フェア実施計画		学生が考える⇒教員チェック		
28～42	アイテム作成		作成		
43～48	準備				
49～54	リハーサル				
55～58	本番				
59.60	振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験30%、レポート25%、実技試験25% フォーマル検定10% 出欠席10%			実技に関しては、ひとつひとつ「何のため」なのかをディスカッションを通じて、理解したうえでの、実技修得に務めてください。		
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			また技だけではなく、気配り、心配り、身のこなし、言葉づかいなども評価対象になります。		
実務経験教員の経歴		ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ブライダル総論Ⅱ				
担当教員	武田 奈々	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	90
授業概要、目的、 授業の進め方	1、ブライダル・コーディネーター技能検定について理解する 2、日本と欧米の結婚式について歴史と文化を理解する 3、ブライダルビジネスについて理解する 4、ブライダルの基礎的知識について理解する				
学習目標 (到達目標)	検定出題傾向について理解し、暗記する。知識だけではなく、職業観を意識させていく。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ブライダル・コーディネーターテキストエキスパート				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	・ブライダル・コーディネーター検定を理解する 第1章 結婚の定義		教科書のライン引きと解説		
3.4	第2章 日本の結婚式：歴史と文化				
5.6	第3章欧米の結婚式：歴史と文化				
7.8	第4章 見合い				
9.10	第5章 婚約				
11.12	第6章 結納				
13.14	第7章 結婚式（キリスト教式・神前式）				
15.16	第7章 結婚式（仏前式・ジビルマリッジ・パウリニューアル）				
17.18	第8章 披露宴				
19.20	第9/10/11章 二次会・新婚旅行・料理飲み物				
21.22	前期テスト実施		テスト		
23.24	第12/13章 トータルコーディネート・衣装		教科書のライン引きと解説		
25.26	第13/14章 衣装・ヘアメイク				
27.28	第15/16章 フラワーアイテム・会場コーディネート				
29.30	第17/18/19/20/21/22章 ペーパーアイテム・引出物・音響・照明・司会・写真・記念アイテム				
31~34	過去問題実施と解答解説		テスト実施		
35~38	過去問題実施と解答解説				
39~43	過去問題実施と解答解説				
44~48	過去問題実施と解答解説				
49~52	過去問題実施と解答解説				
53~56	過去問題実施と解答解説				

57~60	実技試験対策	
61~64	実技試験対策	
65~70	実技試験対策	
71~80	実技試験対策、過去問題対策	
81~84	過去問題、実技対策	
85~87	検定勉強	
88~90	ブライダルコーディネート技能検定本番	
評価方法・成績評価基準		履修上の注意
出席率50%、授業態度10%、学科テスト40% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		重要ポイントのライン引きをしっかりと学習して暗記すること。検定の出題傾向について理解すること。
実務経験教員の経歴	バンケットキャプテン・アテンダント・音響・司会業務に13年関わる	

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	婚礼予約				
担当教員	武田 奈々	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	35
授業概要、目的、 授業の進め方	新規接客を理解し企画や広報を考えることができる				
学習目標 (到達目標)	初回来館から結婚式当日までの流れを理解し、新規接客ではアイスペイクや自分なりのセールストークができる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ブライダル・コーディネーターテキストエキスパート				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	結婚が決まってから結婚式当日までの流れ・新郎新婦の気持ちの変化について理解する。		実務		
2	ヒューマンスキルの重要性について理解する。		実務		
3.4	新規接客時の一連の流れを理解する。		実務		
5.6	新規接客の重要性を理解する。		実務		
7.8	<会場案内> 魅力的で効果的な会場の見せ方・話し方について考え、自分なりのセールストークができる。		実務		
9.10	<見積もり作成> サービス料の定義を理解する。消費税・サービス料の計算ができる。		実務		
11.12	<仮予約> 仮予約を確実に獲得するための対策を考える。		実務		
13.14	<申込手続き> 申込手続き時伝えるべきこと、今後の打合せスケジュールを理解する。		演習		
15.16	<申込手続き> ロープレを通し、15の手続き内容を順序よく説明できる。		演習		
17.18	ゲスト目線で結婚式のお呼ばれマナーがわかる。 服装のマナーについての注意点が説明できる。		実務		
19.20	招待状に必要なアイテムの名称がわかる、内容が説明できる。		実務		
21.22	前期学習の振り返り		実務		
23.24	前期の復習（新規接客の流れ、心構え）		実務		
25.26	招待状作成の際に差出人名義の違いを理解し、発注することができる。		実務		
27.28	ゲストテーブルの配置方法とそれぞれの特徴がわかる。		実務		
29.30	ゲストテーブルの配置での上座・下座、ゲストテーブル内での上座・下座を理解し、説明ができる。		実務		
31.32	結婚式当日の新郎新婦・ゲストのタイムスケジュールがわかる。		実務		
33.34	挙式～披露宴までオリジナルウェディングのプロデュース企画		実務		
35	挙式～披露宴までオリジナルウェディングのプロデュース企画 発表		実務		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率80%、授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			重要ポイントを理解すること。自分で考え意見を述べること。		
実務経験教員の経歴	バンケットキャプテン・アテンダント・音響・司会業務に13年関わる				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	新規接客				
担当教員	武田 奈々	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択	単位数		時間数	15
授業概要、目的、 授業の進め方	新規接客である、ヒアリング、プランニング、プレゼンテーションと一通りの接客理解と実践				
学習目標 (到達目標)	好感の持てる新規接客ができる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ブライダル・コーディネーターテキストエキスパート				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	新規接客動機付け、スケジュール説明、グループ分け、手本実践		実務、実習		
3.4	内容検討、自社詳細資料作成、練習		実務、実習		
5.6	新規接客練習		実習		
7.8	中間チェック		実習		
9.1	直し、練習		実習		
11.12	直し、練習		実習		
13.14.15	テスト発表、振り返り		実習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技70%、出欠席10%、授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			重要ポイントを理解すること。自分で考え意見を述べること。		
実務経験教員の経歴	バンケットキャプテン・アテンダント・音響・司会業務に13年関わる				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	バンケットサービス				
担当教員	武田 奈々	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択	単位数		時間数	15
授業概要、目的、 授業の進め方	1、入場前説明、入場先導が出来るようになる 2、演出説明と実践が出来るようになる 3、実技テストに合格しキャプテン業務を習得する				
学習目標 (到達目標)	ご結婚披露宴のキャプテン業務（入場前説明、入場先導、演出説明）ができる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ブライダル・コーディネーターテキストエキスパート				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	会場図面の書き方・入場前説明・演出説明シート作成		実務		
3.4	入場前説明～入場実践練習		演習（バンケットルームにて）		
5.6	演出説明～退場実践練習				
7.8	マイクアテンド・着席離席補助練習				
9.10	今までの通し練習				
11.12	テストに向けた実技練習				
13.14.15	実技テスト				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技70%、出欠席10%、授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			バンケットキャプテンを認識して実習に臨むこと。積極的に取り組むこと。職業を意識した身だしなみを心がけること。		
実務経験教員の経歴	バンケットキャプテン・アテンダント・音響・司会業務に13年関わる				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		接客術				
担当教員		高橋 香織	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科		ホテル・ブライダル科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択		選択	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方		1、会場やドレスを選ぶ際の印象のよい発声方法、会場をドレスをより魅力的に見せるための言葉を学ぶ				
学習目標 (到達目標)		会場・ドレスを魅力的に説明できる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料		プリント				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1.2	発声、滑舌トレーニング、「されて嬉しい・不快な接客」について 7つの接客応対用語			プリント		
3.4	美しく、正しい接客のフレーズ 相槌のレパトリーを増やす			プリント		
5.6	会場ドレスの接客用語ピックアップ			筆記用具		
7.8	装飾語をつけて、文章作成			筆記用具		
9.10	グループを組んでロールプレイング			レポート用紙		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
実技70%、出欠席10%、授業態度20% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				聞く力、話す力を身につけ、「借りたくなる」接客術を修得する		
実務経験教員の経歴		ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ウエディング課題				
担当教員	武田 奈々	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	15
授業概要、目的、授業の進め方	1、ウエディングの情報誌やニュースに目を向ける 2、自分自身で情報を収集し、内容をまとめ課題を提出する				
学習目標 (到達目標)	調べる癖をつける。ウエディング情報をインプット＆アウトプットできるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	パワーポイント、プリント、ウエディング情報誌				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	みんなに知ってほしいウエディングニュースについて3つ調べる		雑誌、新聞、ネットなど		
2					
3					
4	興味を持ってもらえるようにまとめる		雑誌、新聞、ネットなど		
5					
6					
7	パワーポイント、台本の作成		パワーポイント		
8					
9					
10	発表練習		パワーポイント		
11					
12					
13	発表する、課題提出		パワーポイント		
14					
15					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率50%、課題提出50%			「伝える」ことを意識して作成する、発表すること		
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	バンケットキャプテン・アテンダント・音響・司会業務に13年関わる				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	テーマウェディングディスプレイ				
担当教員	高橋 香織	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	1、新郎新婦が希望するテーマにそって、ディスプレイを提案、実践する				
学習目標 (到達目標)	チームを組んで、ディスプレイを完成させる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	プリント、資材				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	テーマウェディングを提案する		動画にてテーマウェディング説明		
2			デザイン画かく		
3	資材発注		分担し資材発注		
4					
5					
6	ディスプレイ開始		かざりつけ		
7					
8					
9					
10					
11	ディスプレイ完成		かざりつけ		
12					
13					
14					
15					
16	テーマウェディングを提案する		動画にてテーマウェディング説明		
17			デザイン画かく		
18	資材発注		分担し資材発注		
19					
20					
21			かざりつけ		

22	ディスプレイ開始	
23		
24		
25		
26	ディスプレイ完成	かざりつけ
27		
28		
29		
30		
評価方法・成績評価基準		履修上の注意
実技70%、出欠席10%、授業態度20% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		ディスプレイを通じて今の流行のウェディングを知り、新郎新婦の希望をカタチにしましょう。
実務経験教員の経歴	ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。	

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ブライダルファッション				
担当教員	高橋 香織	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択	単位数		時間数	20
授業概要、目的、授業の進め方	1. ウェディングスタッフに必要な技術と知識の修得				
学習目標 (到達目標)	1、ドレスをきれいにフィッティングすることができる 2、専門用語を使ってわかりやすく接客ができる 3、今後のブライダル業界を考え、提案することができる 4、ウェディングスタッフに相応しい、身だしなみ、心配りができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	ドレスコーディネーターの業務・婚礼衣裳業界		プリント、ディスカッション		
3.4	カウンセリング・会場とのバランス		コラージュ作成		
5.6	ブライダルインナー講義		ブライダルインナーフィッティング		
7.8	ドレスの着せ方、アクセサリコーディネート		ドレスフィッティング		
9.10	フィッティングテスト				
11.12	テスト・課題作成				
13.14	新郎衣裳		マネキンと新郎衣裳		
15.16	和装知識		打掛使用		
17.18	和装畳み方テスト				
19.2	テスト・課題作成				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験30%、レポート25%、実技試験35% 出欠席10%			実技に関しては、ひとつひとつ「何のため」なのかをディスカッションを通じて、理解したうえでの、実技修得に務めてください。		
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			また技だけではなく、気配り、心配り、身のこなし、言葉づかいなども評価対象になります。		
実務経験教員の経歴		ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。			

科目名	フラワーアレンジメントⅡ				
担当教員	高橋 香織	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	20
授業概要、目的、 授業の進め方	1、ドレススタイリストとして、ブーケがアドバンスできるようになる。 2、フラワーは実技指導中心				
学習目標 (到達目標)	ドレスとブーケのトータルコーディネートがでる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	SNS				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	デザインの分類、フレームデザイン		特になし		
3.4	アートフラワーの使い方、ヘッドドレス		アートフラワー		
5.6	生花ヘッドドレス		生花		
7.8	ドレスとブーケのコーディネート、ガーベラのクラッチ&アームブーケ		生花		
9.10	花かんむり①		アートフラワー		
11.12	花かんむり②		続き		
13.14	クラシックな生花、カスケードブーケ		生花		
15.16	アートフラワーのリースブーケ		アートフラワー		
17.18	ショルダーコサージュ		アートフラワー		
19,20	クラッチブーケ		生花		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
作品70%、出欠席10%、授業態度20% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			ものを作るだけでなく、ワイヤリング方法やテープなどの処理方法も共に学びましょう。		
実務経験教員の経歴		ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ウェディングフォト				
担当教員	高橋 香織	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択	単位数		時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	1.ウェディングスタッフとして、フォトを知ることで、フォトウェディングの提案ができる 2.現役カメラマンの実技指導				
学習目標 (到達目標)	自分たちで企画したフォトウェディングを経験する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	フォトウェディングとは		パワーポイント		
2					
3	カメラの知識		パワーポイント		
4					
5	ウェディングスタッフが知るべきこと		パワーポイント		
6					
7	今のフォトウェディング		パワーポイント		
8					
9	SNSで映える写真の撮り方		カメラ・携帯撮影		
10					
11	撮影会準備		ディスカッション		
12			ディスカッション		
13			ディスカッション		
14			準備		
15			準備		
16			準備		
17	フォトウェディング撮影会		屋外に出での学習		
18					
19					
20					
21					

22			↓
23		屋外に出ての学習	
24			
25			
26	フォトウェディング撮影会		
27			
28			↓
29		パワーポイント	
30	振り返り		
評価方法・成績評価基準		履修上の注意	
実務経験教員の経歴			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ウォーキング				
担当教員	高橋 香織	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方	1、ドレススタイリストとして、花嫁に当日の歩き方のアドバイスができる				
学習目標 (到達目標)	花嫁に当日の身のこなし方のアドバイスができる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	ドレスを着た時の基本の立ち方、歩き方、ブーケの持ち方		ドレスを着てウォーキング		
3.4	ドレスを着てブーケを持って歩く				
5.6	ドレスを着た時の立振舞を学ぶ				
7.8	全体を通しての動きをマスターする				
9.10	花嫁に説明をしてする			↓	
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技70%、出欠席10%、授業態度20%			歩かせ方、誘導の仕方を通して、当日の花嫁の気持ちを感じ取れる力を身につけましょう。		
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	スタイリストヘアメイク				
担当教員	高橋 香織	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方	1、ドレスフィッティングの際に簡単にヘアアレンジができる 2、フォト撮影時にお直しができる 3、実技指導中心				
学習目標 (到達目標)	1、花嫁のヘアメイクなおし				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	メイク道具				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	自分に似合うメイク		ヘアメイク道具		
3.4	自分に似合うヘア				
5.6	洋装花嫁デモンストレーション 人気スタイルを知る				
7.8	ヘアメイク直し練習				
9.10	ヘアメイク直し練習				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
作品70%、出欠席10%、授業態度20% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			技術も大事ですが、物を修理して大切に扱う気持ちも学びましょ う。		
実務経験教員の経歴		ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	イベントプロデュースⅡ				
担当教員	武田 奈々	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	105
授業概要、目的、授業の進め方	1、役割を責任をもって全うする 2、全員がウエディングプランナーとしての意識を持ち行動する 3、感動を提供し、自分も感動できるくらい頑張る 4、自分の目標を意識して行動する				
学習目標 (到達目標)	イベントを成功させ、自身の目標も達成する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	プリント教材				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～4	リアルウエディング説明、役割説明、過去のムービー鑑賞		グループワーク、プリント		
5～8	新郎新婦の発表と役割決め				
9～12	スケジュール説明と各自作業進める				
13～16	ヒアリングシートとプランニングシートの内容検討				
17～20	初回打ち合わせ				
21～24	テーマ、テーマカラーの検討、デッサン画書き始め				
25～28	式次第検討、シート作成				
29～35	再度式次第検討、シート作成				
36～41	パンフレットの作成、2回目の打ち合わせ段取り、台本作成、BGMリストアップ、カクテルの作成、会場装飾作成				
42～47	当日の動きを想定した練習		実習		
48～55	当日の動きを想定した練習				
56～62	当日の動きを想定した練習				
63～68	当日の動きを想定した練習				
69～74	雨天バージョンを考える・リスクを考える・持参物を表にする、買い出し				
75～80	リハーサルとチェック、修正				
81～91	ウエディング前日 リハーサル				
92～99	ウエディング当日、片付け				
100～105	片付け・振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率70%、授業態度30%			バンケットキャプテンを認識して実習に臨むこと。積極的に取り組むこと。職業を意識した身だしなみを心がけること。		
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		バンケットキャプテン・アテンダント・音響・司会業務に13年関わる			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	イベントプロデュースⅡ（ウェディングパーティー）				
担当教員	高橋 香織	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択	単位数		時間数	50
授業概要、目的、授業の進め方	1、フィッティング技術、裁縫技術、コーディネート力、表現力、チームワークなど実践的に身につける 2、パーティー演出を学ぶ				
学習目標 （到達目標）	1、ウェディングパーティーで高校生を楽しませ、学校に興味をもってもらう				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	企画・クラス発表		各グループで考える⇒教員チェック		
3.4	事務局への発表⇒基本案決定				
5.6	担当・内容決定				
7.8	パーティー内容と小物決定				
9.10	パーティー装飾を考える				
11.12	スケジュール作成				
13～16	装飾/台本作成				
17.18	装飾/ヘアメイク				
19～21	動いてみる				
22～27	装飾作成				
28～33	リハーサル				
34～39	リハーサル				
40～43	リハーサル				
44～49	本番				
50	振り返り			↓	
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験30%、レポート25%、実技試験25% フォーマル検定10% 出欠席10%			実技に関しては、ひとつひとつ「何のため」なのかを ディスカッションを通じて、理解したうえでの、実技修得に務めて ください。		
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・ D(59点以下)とする。			また技だけではなく、気配り、心配り、身のこなし、言葉づかいなど も評価対象になります。		
実務経験教員の経歴		ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		イベントプロデュース II（新規接客）				
担当教員		高橋 香織	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科		ホテル・ブライダル科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択		選択	単位数		時間数	40
授業概要、目的、授業の進め方		1,営業意識を持たせ、コミュニケーション能力、表現力を実践的に学ぶ 2,ロールプレイングで実施				
学習目標 （到達目標）		ロールプレイングコンテスト実施				
テキスト・教材・参考図書・その他資料		なし				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1.2	新規接客とは			パワーポイント		
3～6	プロの映像を観て気づいたことを話し合う			映像・ディスカッション		
7～10	言葉の選び方					
11～14	ビジュアルツールについて			パソコン		
15.16	アレンジ方法			パソコン		
17.18	案内・誘導の仕方					
19.20	ゲストの設定を考える					
21～24	接客デモンストレーション					
25.26	ロールプレイング練習					
27～30	ロールプレイング練習					
31.32	ロールプレイング練習					
33.34	リハーサル					
35～38	本番					
39.4	振り返り					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
定期試験30%、レポート25%、実技試験25% フォーマル検定10% 出欠席10%				実技に関しては、ひとつひとつ「何のため」なのかをディスカッションを通じて、理解したうえでの、実技修得に努めてください。		
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				また技だけではなく、気配り、心配り、身のこなし、言葉づかいなども評価対象になります。		
実務経験教員の経歴		ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	イベントプロデュース II（ブライダルフェア）				
担当教員	高橋 香織	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	選択	単位数		時間数	60
授業概要、目的、 授業の進め方	1、営業力、コーディネート力、表現力、チームワークなど実践的に身につける 2、ブライダルフェアの企画・実現				
学習目標 （到達目標）	1、ブライダルフェアを実施することで、営業力と今のトレンドを知る				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	ブライダルフェアとは		パワーポイント		
3～6	各企業のフェアを調べまとめる		パワーポイント		
7.8	マーケティングを学ぶ		パワーポイント		
9.10	集客方法を学ぶ		パワーポイント		
11～14	今のトレンド調査		パワーポイント		
15.16	調査結果発表		パワーポイント		
17.18	チーム編成		パワーポイント		
19～22	ブライダルフェア企画		パワーポイント		
22.23	企画発表		パワーポイント		
24～27	フェア実施計画		学生が考える⇒教員チェック		
28～42	アイテム作成		作成		
43～48	準備				
49～54	リハーサル				
55～58	本番				
59.60	振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験30%、レポート25%、実技試験25% フォーマル検定10% 出欠席10%			実技に関しては、ひとつひとつ「何のため」なのかを ディスカッションを通じて、理解したうえでの、実技修得に務めて ください。		
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・ D(59点以下)とする。			また技だけではなく、気配り、心配り、身のこなし、言葉づかいな ども評価対象になります。		
実務経験教員の経歴		ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	キャリアデザインⅡ				
担当教員	武田 奈々	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	2年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	115
授業概要、目的、 授業の進め方	社会人になる前の心と体の準備を行う。自身の将来を考え、企業でどのように活躍していきたいかなど考える。目標を立て、そこに向かって学生時代に行うことができることを精一杯行う。				
学習目標 (到達目標)	最終学年としての自覚を持ち、社会人としての人材育成を行う。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	スタディサプリ、スクールライフアンケート、その他プリントなど				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～6	学校生活のルールを改めて理解する。新しいクラスの友人とコミュニケーションを図る、就職活動		面談、自習		
7～18	就職活動の進捗状況を担任と確認する 内定者は、次の目標について考える		面談、自習		
19～30	自分を理解し、今後のキャリアデザインを考える		面談、自習		
31～40	1年生との交流を図る。		ディスカッション		
41～46	業界に対する理解をセミナーを通して深め、モチベーションを高める				
47～52	様々なイベントをお互いに見学しあい、刺激しあう。 それを自身のイベントに活かす。		レポート		
53～64	卒業制作に向けての準備を行う		ディスカッション		
65～70	前期を振り返る。最後の学生生活であることを意識する。		レポート		
71～74	後期の動機付け、後期目標設定、シート記入		プリント		
75～78	卒業までの残りを実感し、何をするべきか考える		プリント		
79～82	業界に対する理解をセミナーを通して深め、モチベーションを高める		ディスカッション		
83～93	年明けのスケジュール確認、修了式		プリント		
94～105	クラス交流、1. 2 年生交流会、座談会		ディスカッション		
106～115	学生生活の振り返り、まとめ				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率50%、学習意欲（授業態度）50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			社会人になるまであと1年もないということを自覚して、後悔のないように1回1回を大切に考えながら進めること。		
実務経験教員の経歴		バンケットキャプテン・アテンダント・音響・司会業務に13年関わる			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ビジネス実務Ⅰ				
担当教員	小林 美江	実務授業の有無	×	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	2、3年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 社会人・職業人として大切な心構えと習得しておくべき基礎能力を習得する。 2. 過去問題を多用し、試験内容を解く上でのテクニックも学習する。				
学習目標 (到達目標)	ビジネス能力検定 ジョブパス2級 合格				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ビジネス能力検定ジョブパス2級 テキスト・問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	3級の復習		振り返り		
3 4	検定取得の意義 ビジネス用語の習得		講義 課題		
5 6	2－1 仕事の進め方		講義 確認問題（問題集にて）		
7 8	2－2 ビジネス文書の基本		講義 確認問題（問題集にて）		
9 10	2－3 統計・データのまとめ方		講義 確認問題（問題集にて）		
11 12	2－4 情報収集とメディアの活用		講義 確認問題（問題集にて）		
13 14	2－5 会社数字の読み方		講義 確認問題（問題集にて）		
15 16	2－6 ビジネスと法律・税金知識		講義 確認問題（問題集にて）		
17 18	2－7 産業と経済の基礎知識		講義 確認問題（問題集にて）		
19 20	過去問題 3－1		小テスト		
21 22	過去問題 3－2		小テスト		
23 24	過去問題 3－3		小テスト		
25 26	過去問題 3－4		小テスト		
27 28	過去問題 3－4		小テスト		
29 30	検定				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率70％ 学習意欲10％ 検定合格20％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			模擬問題を受けた後、出来ていない問題を中心に復習を行うようにすること。		
実務経験教員の経歴					

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ビジネス実務Ⅱ				
担当教員	小林 美江	実務授業の有無	×	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	卒年次	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 実社会での仕事は、自分自身、社会の人、お客様、取引先といった周囲の人と関わりの中で進んでいることを認識する為、ビジネスマナーを習得する。 2. 机上の学習だけでなくロールプレイングを多用し、日常生活でも実践できるよう図る。				
学習目標 (到達目標)	会社組織のしくみと人間関係、来客対応、電話対応、訪問のマナー				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	プリント対応				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	社会人としての心構え 職場での基本的マナー 職場の人間関係		講義 グループワーク		
2	来客対応：接遇の意義と重要性 受付対応の基本用語 刺の受け取り方		講義 ロールプレイング		
3	案内の要領：廊下 エレベーター 応接		講義 ロールプレイング		
4	お茶の出し方 見送り 応接の管理		講義 小テスト		
5	電話対応：注意点 受け方の基本 電話対応基本用語		講義 ロールプレイング		
6	応対電話：伝言メモの作成 電話のかけ方		講義 ロールプレイング		
7	電話対応テスト		ロールプレイング形式		
8	訪問のマナー：訪問の準備 交通手段に関する知識 接室でのマナー		講義 ロールプレイング		
9	自宅への訪問の心構え テスト準備		講義		
10	まとめテスト				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
模擬試験70%、学習意欲30%			各自ロールプレイングを何度も行うことで、体得するよう心掛ける。		
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴					

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		実践行動学Ⅱ				
担当教員		武田 奈々	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科		全科	対象学年	2年生	開講時期	前期
必修・選択		必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方		1. 実践行動学Ⅰで学習した内容を踏まえ、1年間の振り返りを行う 2. 働くことへの意識を気付き→認識→一般化→応用という手法をとりいれ、個人作業・ディスカッションなどを通じて理解を深める				
学習目標 (到達目標)		社会人へでの準備→2年後の目標→ライフプランへと段階を経て、将来の自分を具現化させる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料		実践行動学研究所 実践行動学				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1.2	パート3 マジックドア1 入学から今日までの成長を実感する			個人作業・グループディスカッション		
3.4	パート3 マジックドア2 働く自分をイメージしてみよう			個人作業・グループディスカッション		
5.6	パート3 マジックドア3 自分が最大限に生きる働き方とは			個人作業・グループディスカッション		
7.8	パート3 マジックドア4 将来を描いてみよう			個人作業・グループディスカッション		
9.10	パート3 マジックドア5 夢実現への第一歩を踏み出そう			個人作業・グループディスカッション		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
出席率80% 授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				就職直後、数年後、未来・・・の目標を描かせることで、ポジティブな気持ちを継続させる。		
実務経験教員の経歴		バンケットキャプテン・アテンダント・音響・司会業務に13年関わる				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ホスピタリエ				
担当教員	高橋香織	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、授業の進め方	1ホスピタリティを広めることができる人材になる				
学習目標 (到達目標)	ナレッジツリーのしくみを理解し、日常生活の中で知識教養が自然に身についていく生活習慣をつくる ホスピタリティ産業の中で、ホスピタリティがどのように活用され、あるいは活用されていないかを知り、実際のビジネスの現場について学びながら、自然にセカンドステップが発想できるようにトレーニングする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	筆記用具				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ホスピタリティの二つのステップの復習		パワーポイント		
2	ホスピタリティの二つの能力とホスピタリエによるホスピタリエの自己紹介		パワーポイント		
3	共感力コミュニケーションと同感コミュニケーションの比較		パワーポイント		
4	知識を深める生活習慣とナレッジツリー		パワーポイント		
5	ホスピタリエの教養講座①		パワーポイント		
6	ホスピタリエの教養講座②		パワーポイント		
7	ホスピタリエの教養講座③		パワーポイント		
8	ホスピタリエの教養講座④		パワーポイント		
9	ホスピタリエの共感レポート		パワーポイント		
10	料飲ビジネスとホスピタリティ		パワーポイント		
11	ホテルビジネスとホスピタリティ		パワーポイント		
12	ホテルビジネスとホスピタリティ		パワーポイント		
13	ウェディングビジネスとホスピタリティ		パワーポイント		
14	ウェディングビジネスとホスピタリティ		パワーポイント		
15	フューネラルビジネスとホスピタリティ		パワーポイント		
16	医療ビジネスとホスピタリティ		パワーポイント		
17	航空ビジネスとホスピタリティ		パワーポイント		
18	ホスピタリエが考えるホスピタリティ産業		パワーポイント		
19	ホスピタリエが考えるホスピタリティ産業		パワーポイント		
20	ホスピタリエの共感レポート		パワーポイント		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率80%、授業姿勢20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			積極的な意見交換をする。 ホスピタリティを定着させる。		
実務経験教員の経歴	ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ソフトウェア活用実習Ⅲ				
担当教員	小林 美江	実務授業の有無	×	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	卒年次生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、 授業の進め方	データ入力、表計算、グラフ作成、データベース捜査のスキルを学び、E X C E L 検定初級を受検する。				
学習目標 (到達目標)	サーティファイ エクセル文書処理能力検定3級 合格				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	サーティファイ E X C E L 2 0 1 9 クイックマスター基本編 エクセル文書処理能力検定3級問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2 3	エクセルの基本 データの編集 表の編集		実習		
4 5 6	ブックの印刷 グラフと図形の作成 ブックの利用と管理		実習		
7 8 9	関数 データベース機能		実習		
10 11 12	練習問題 1		実習		
13 14 15	練習問題 2 3		実習		
16 17 18	模擬問題 1 2		実習		
19 20 21	模擬問題 3 4		実習		
22 23 24	模擬問題 5 6		実習		
25 26	模擬問題 7 苦手箇所の練習		実習		
27 28	サンプル問題 事前対策		実習		
29 30	エクセル検定3級受検				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率70% 学習意欲10% 検定合格20%			復習をメインに模擬問題を確実なものにすることで、検定合格に結びつく為、モチベーションをキープするよう考慮する。		
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴					

② 国際ホテル・プライダル専門学校 シラバス

科目名	オンライン英会話				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・プライダル科／国際ディレクター科	対象学年	2年	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数		時間数	30
授業概要、目的、 授業の進め方	スタディサプリEnglishを利用し、自主学習でついた英語力を全体授業で確認していきます。 お客様とのコミュニケーションに英語は欠かせないため、英語力を強化します。 英語の問題を解くだけでなく、発話する力をつけるため一人ひとりの発話チェックの時間をもうけています。毎回、単語テストを行い習得状況を把握します。				
学習目標 (到達目標)	英語での会話に緊張せず対応できる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	スタディサプリEnglish				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	オリエンテーション Unit1		スタディサプリEnglish・ロールプレイ・単語テスト		
3	Unit1 Lesson5 トレーニング4				
4	Unit2 Lesson10 トレーニング4				
5	Unit3 Lesson15 トレーニング4				
6	Unit4 Lesson20 トレーニング4				
7	Unit5 Lesson25 トレーニング4				
8	Unit6 Lesson30 トレーニング4				
9	Unit7 Lesson35 トレーニング4				
10	Unit8 Lesson40 トレーニング4				
11	テスト練習				
12・13	テスト				
14	振り返り				
15	Unit9 Lesson45 トレーニング4				
16	Unit10 Lesson50 トレーニング4				
17	Unit11 Lesson55 トレーニング4				
18	Unit12 Lesson60 トレーニング4				
19	Unit13 Lesson65 トレーニング4				
20	Unit14 Lesson70 トレーニング4				
21	Unit15 Lesson75 トレーニング4				
22	Unit16 Lesson80 トレーニング4				
23	Unit17 Lesson85 トレーニング4				
24	Unit18 Lesson90 トレーニング4				
25	Unit19 Lesson95 トレーニング4				
26	Unit20 Lesson100 トレーニング4				
27	テスト練習				
28・29	テスト				
30	振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業態度40％ 試験60％ 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			テキストを中心に学び、単語テストも適宜行う。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英語講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	卒業制作				
担当教員	武田奈々	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	卒年次生	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	95
授業概要、目的、授業の進め方	業界が持つ、課題等を見つけ、それに対する企画を考え、提案していく。 イベントを通して、学年全体のつながりや、プランニング力、プレゼン力、チームワークなど実践を通して身につけ、イベントを実施する				
学習目標 (到達目標)	卒業制作発表会で、保護者や企業に発表する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	プリント教材				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	動機付け、発表の内容、スケジュールについて		プリント		
3.4	グループにてスケジュール確認、発表内容と報告書の作成		プリント		
7～10	企業や団体などをリストアップし、現状や取り組みについてのアンケートや調査を行う		グループワーク		
11～14	スケジュールや進め方（新グループ、メンバー）を全体で共有する				
15～18	各グループは報告書完成させる。当日の会場装飾の準備を始める 実行委員は招待客のリストを作成する				
19～22	当日の発表に必要な台本＋パワポを作成する				
23～26	当日の会場で、本番のイメージをつかむ				
27～30	台本＋パワポの修正。完成。				
31～36	台本見ながら全体リハーサルを行い、他のグループ発表を聞いて、卒制全体のイメージをつかむ				
37～42	全体リハーサルの準備を始める（台本とパワポのタイミングを合わせる）				
43～48	企業の方に企画や発表を見ていただき、内容をより精査する 全体リハーサルの準備を行う（前後のつながりを考える）				
49～65	全体リハーサルを行い、卒制全体の流れを一人ひとりがつかむ				
66～71	全体リハーサルの準備を行う（聞いている人に伝わる話し方を意識しよう）				
72～77	全体リハーサル⇒振り返り、修正				
78～83	前日リハーサル⇒振り返り、修正				
84～89	企業、保護者本番				
90～95	振り返り（個人シート、グループ、実行委員他）				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
卒制実施30%、出席率40%、学習意欲（授業態度）30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			業界の現状を調査し、課題を見つけ、それに対する提案を考えていきます。学生ならではの視点を重視し、実現可能かどうかも含めて、大人の意見を聞きながら進めていきます。自分たちの考えをまとめ、発信し、業界をよりよくするための発表を行います。		
実務経験教員の経歴	バンケットキャプテン・アテンダント・音響・司会業務に13年関わる				